

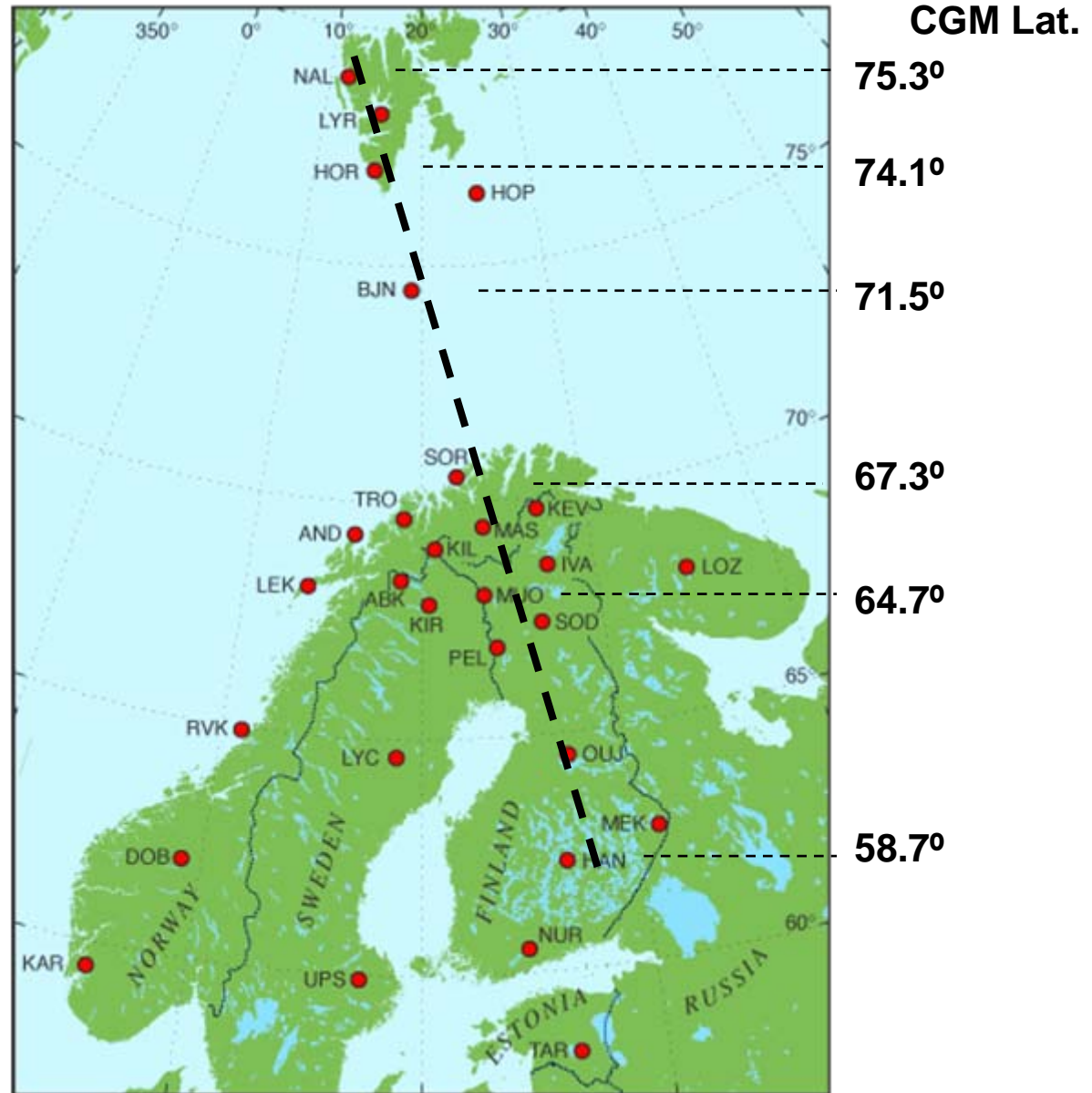
Pc5脈動の問題点と 中緯度短波レーダの活用

櫻井 亨（東海大）

Pc5脈動の一つの問題点

- 地上磁場観測やSuperDARNの解析からPc5は磁気緯度70° 近辺で磁力線共鳴 (FLR) が起こる事が指摘されている. (Samson, 1974, Walker et al, 1979, Ruohoniemi et al, 1991 etc)
- また, 地上磁場観測から~65° 近辺でも磁力線共鳴 (FLR).
- 一方, 地上磁場観測や低緯度HF Doppler (HFD) 観測からPc5脈動は極域電場の低緯度伝播による電離層電流に起因する (Motoba et al., 2002, 2003, 2004).
- SuperDARNでは, 磁気緯度~65°が低緯度側の限界(?), 一方, 中緯度レーダでは磁気緯度~60°が高緯度側の限界(?)で, この間のレーダ情報が欲しい. ULF波動に伴うオーロラ帯から中緯度に亘る電離層電場, プラズマ運動はどの様になっているかを明らかにする
- Pc 3-4脈動の FLR構造やSARアークに伴うPc1脈動の役割を明らかにする.

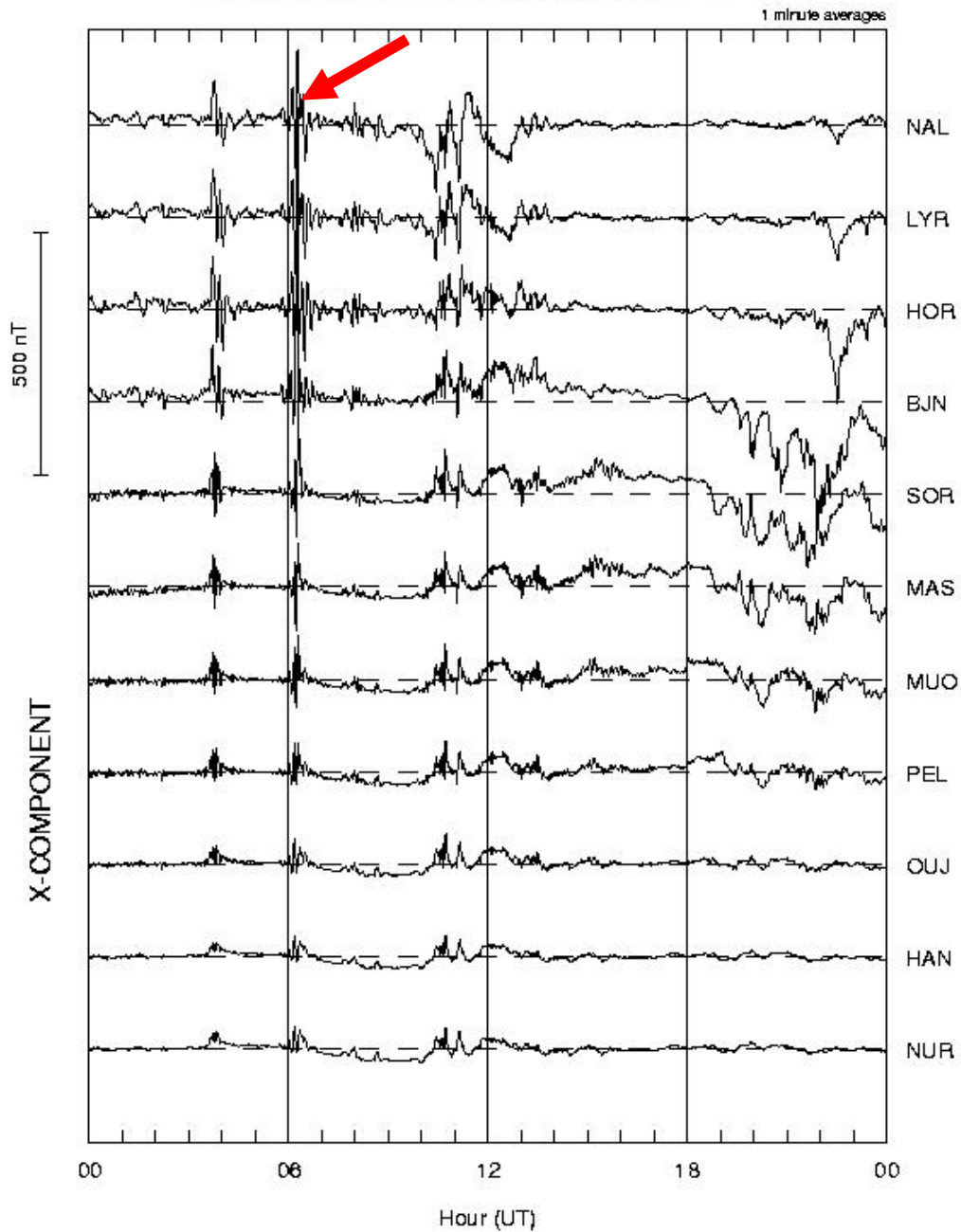
IMAGE Magnetometer Network

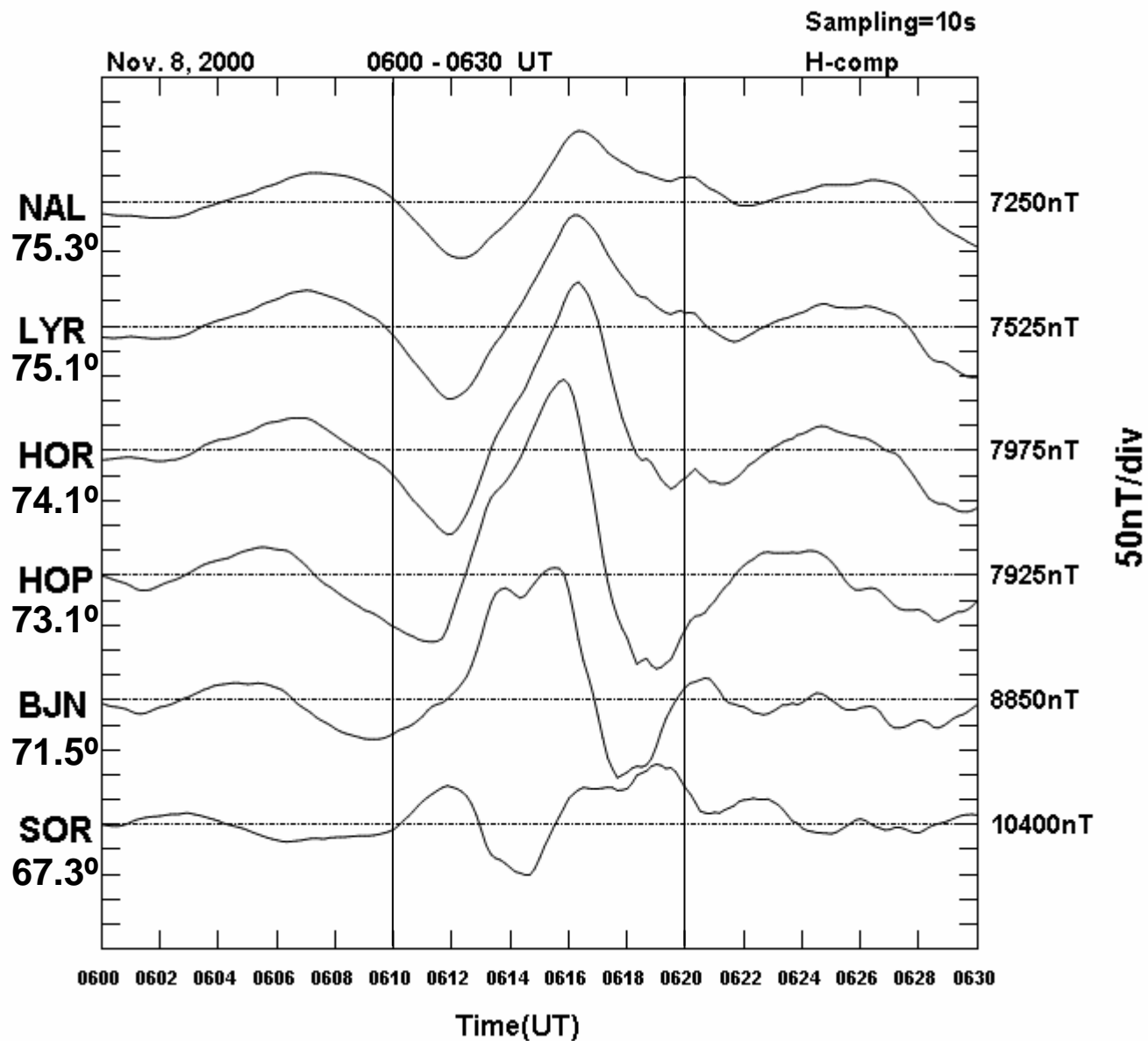


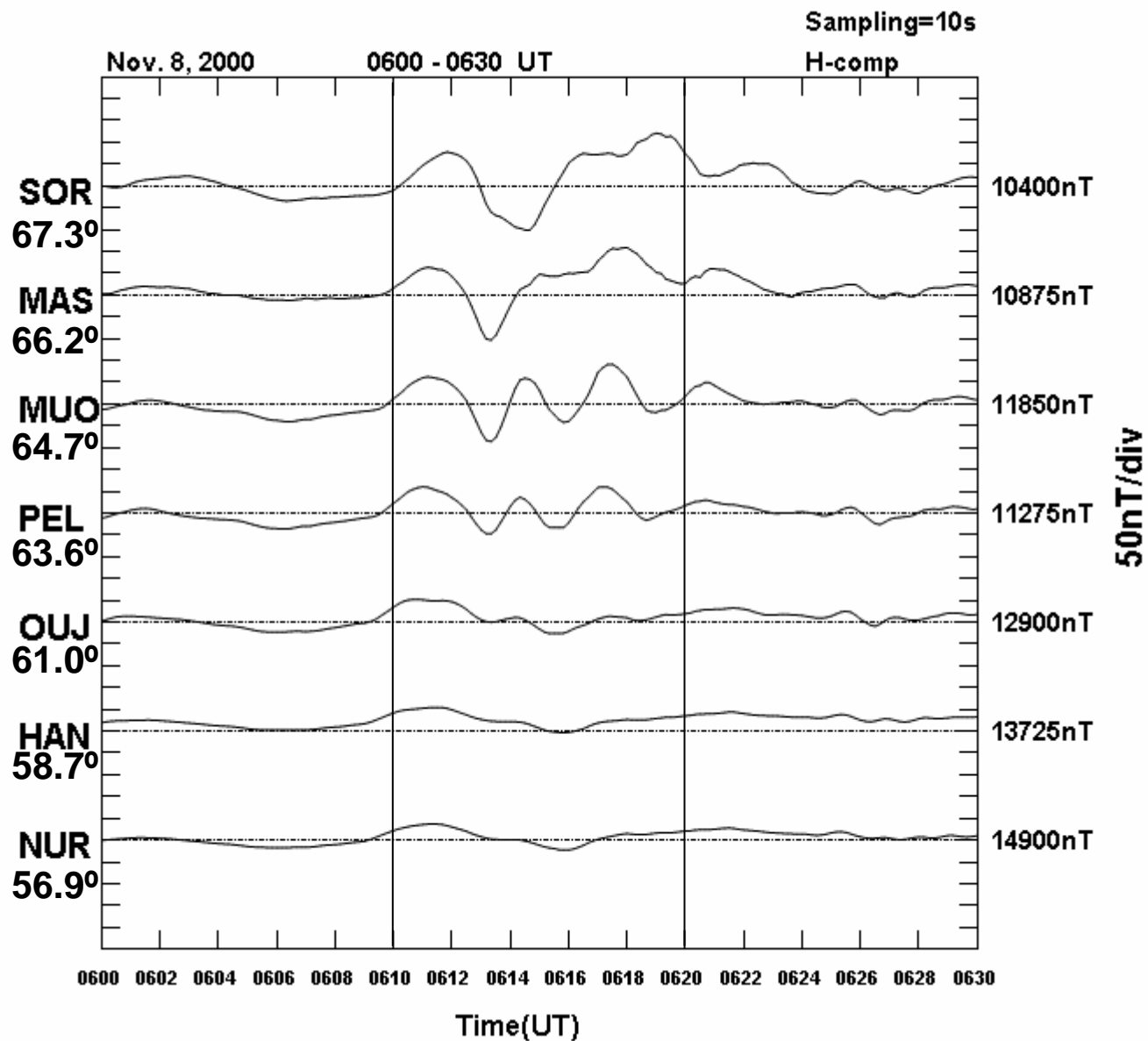
2007/2/28

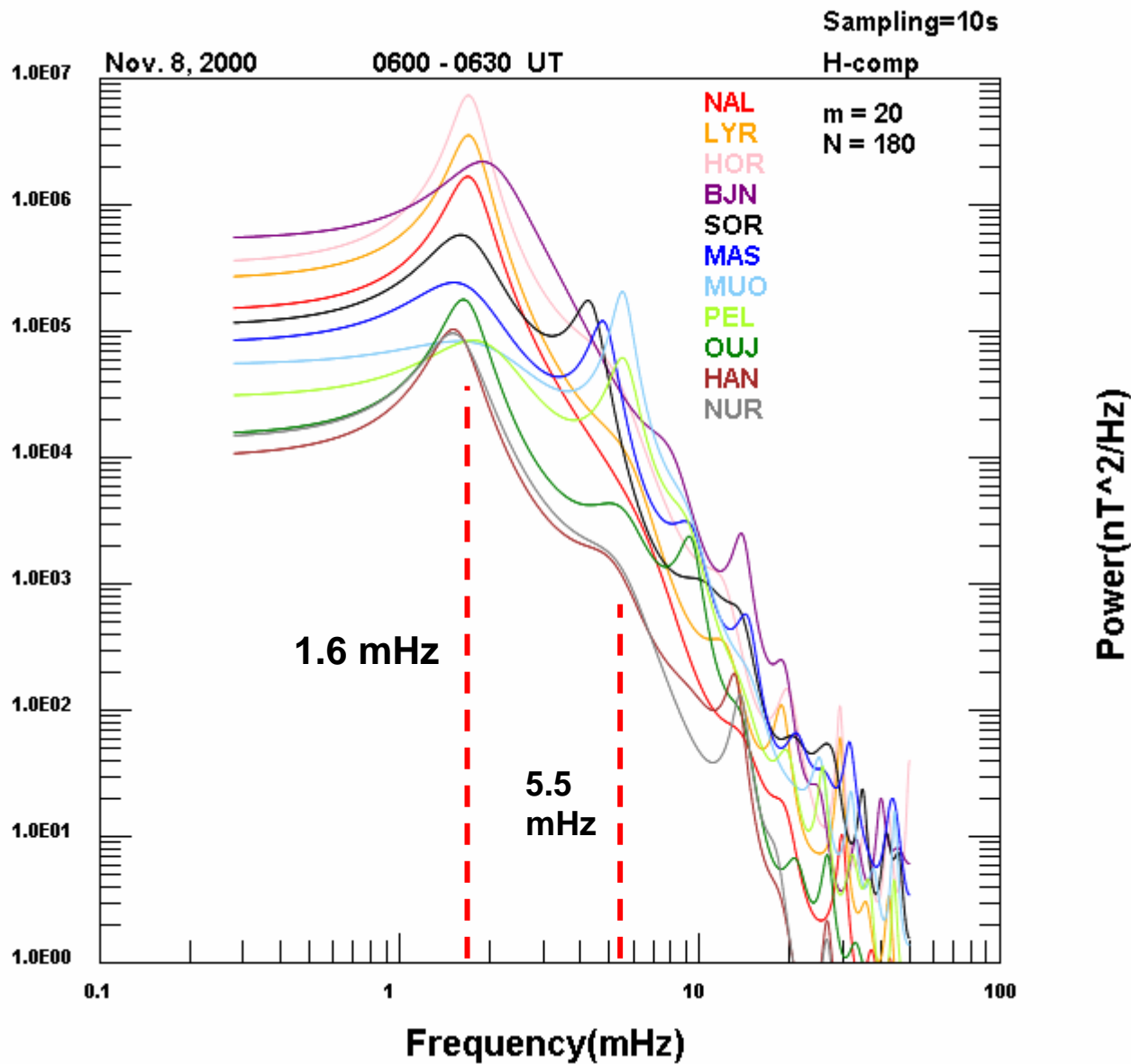
中緯度短波レーダシンポジウム October 2004

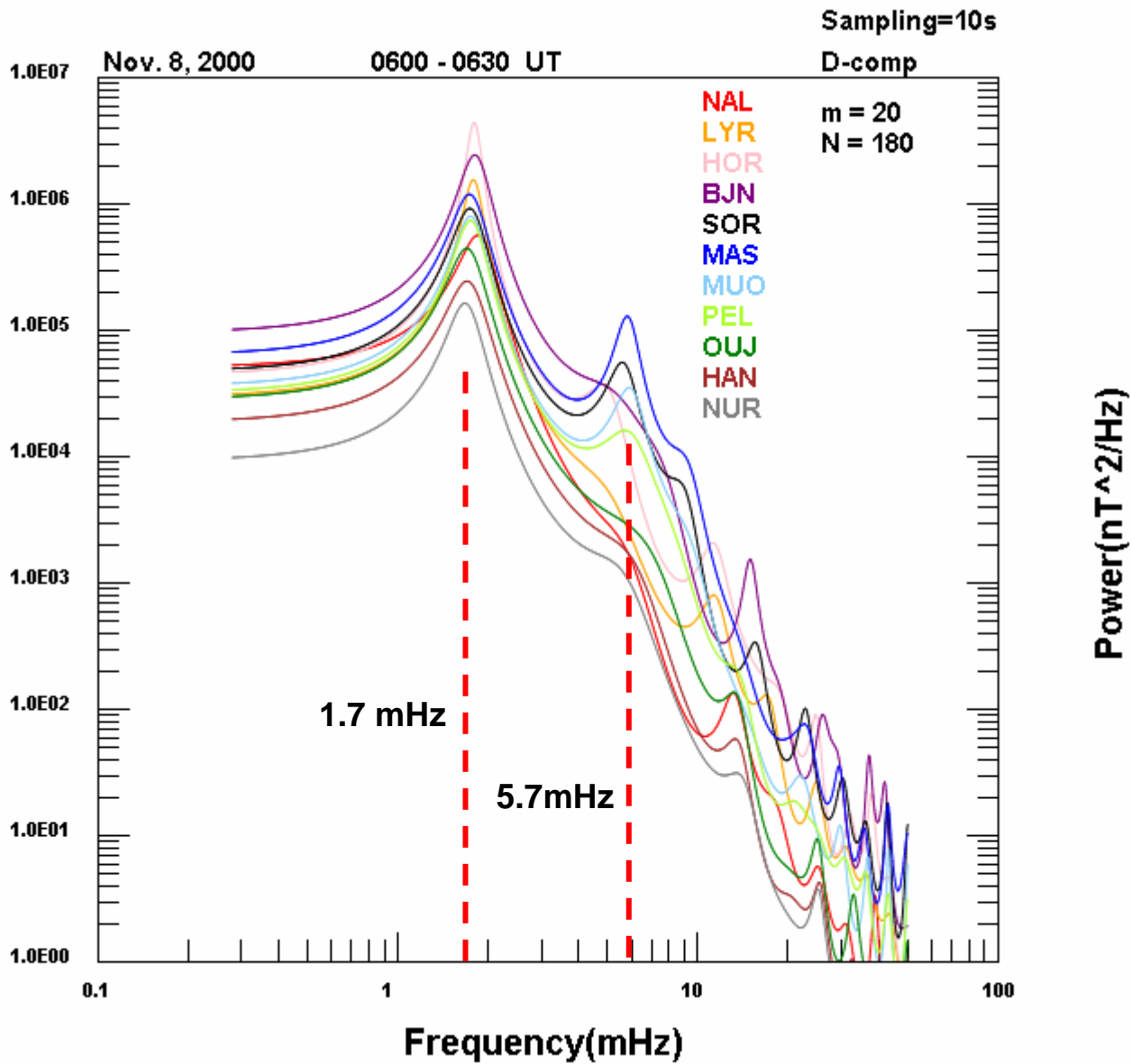
IMAGE magnetometer network 2000-11-08



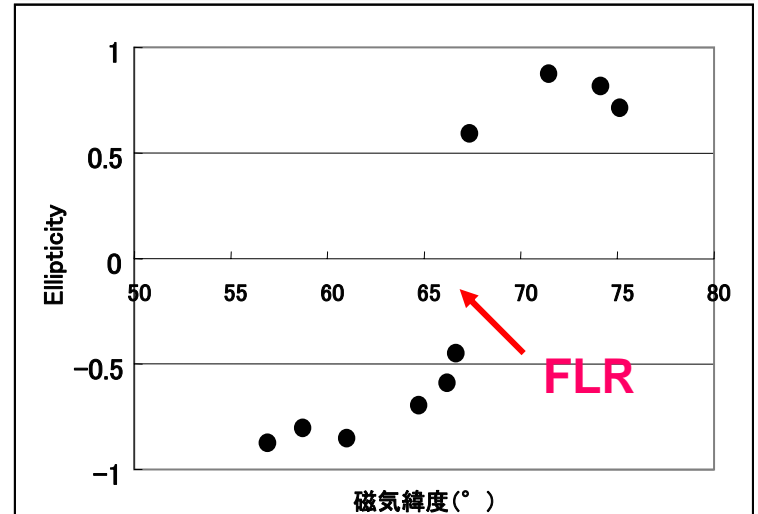
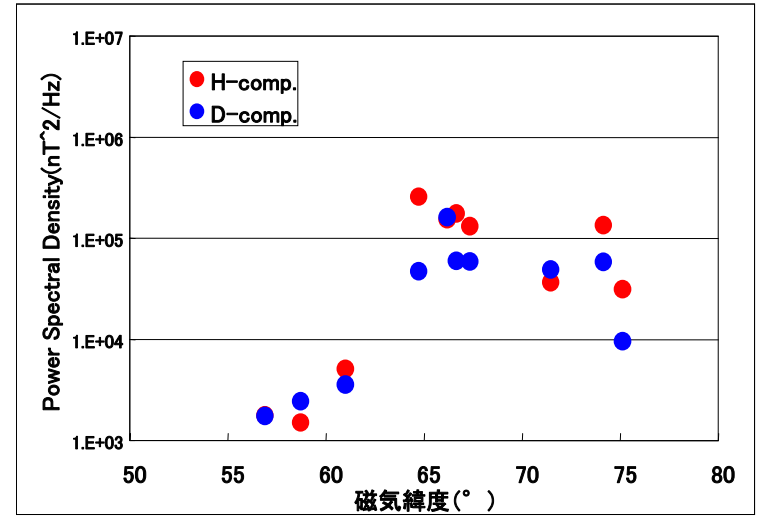
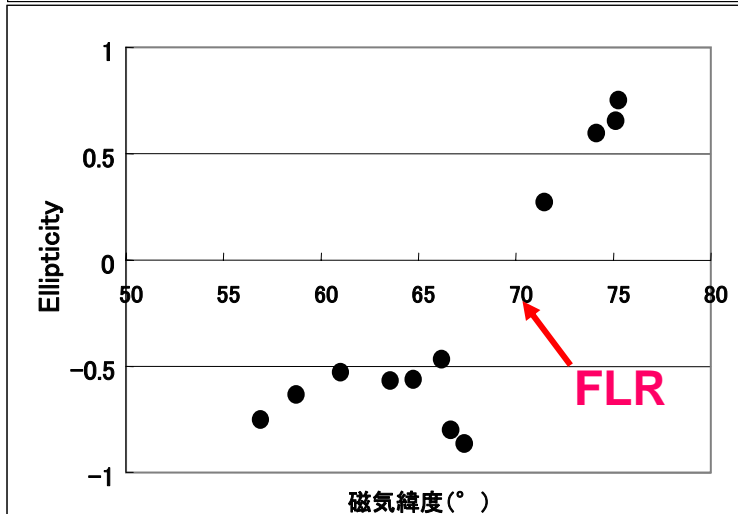
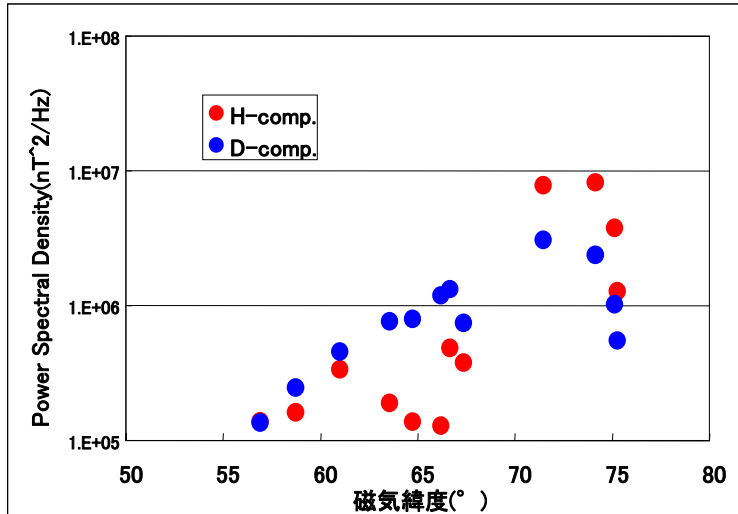








解析結果(振幅 偏波)



2007/2/26 **1.6mHz**

中緯度短波レーダシンポジウム

5.5mHz